

【総合型選抜】

本学科の総合型選抜では、造形に関する思考力及び表現力の検査を行い、創造的・論理的に空間を造形する能力を判定します。特に、自身の好奇心によって身についた想像力、空間認識力、思考力を生かして、設問に対して独自の解釈や発想を持つこと、またその解釈や発想を裏付けようとする論理的な思考を同時に展開できることを重視します。

今年度は、実技試験である造形Ⅰでは、点光源からの光を立体に当てることで、xy平面上にできる影や、光が当たる部分を削ってできたもう一つの立体について、その平面および立体の形状を把握できるか、その立体形状をスケッチによりわかりやすく表現できるかといった、思考力、空間認識力、表現力をみることを出題意図としています。

また、実技試験である造形Ⅱでは、定められた台紙上の空間に複数の幾何学立体によって「虚の構築」を創作するとともに、テーマに対する自身の解釈・創作意図を記述することにより、造形物と解釈・創作意図から、独創力と空間に対する感受性、空間認識力や表現力、課題に対する解釈や発想を裏付けようとする論理的な思考をみることを出題意図としています。